

## R2年度障害者差別解消法に関する職員の認識度調査

調査期間：令和2年7月6日～7月27日

調査対象：（1）行政職（一）の職員で、専ら事務に従事している職員

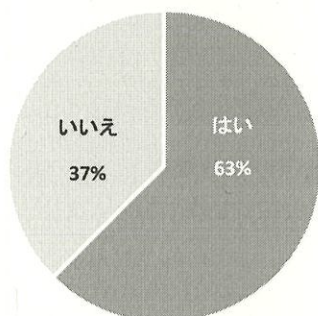
（2）行政職（二）

（3）市立病院（医療職）

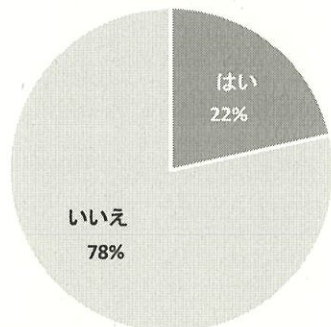
		(1) 行政職(一)	(2) 行政職(二)	(3) 市立病院 (医療職)	総合計 (割合)
	職員数	1,324	102	439	1,865
① 障害者差別解消法が施行されたことを知っていますか。	はい	964 (73%)	25 (25%)	177 (40%)	1,166 (63%)
	いいえ				
② 障害者差別解消法にかかる研修に参加したことがありますか。	はい	378 (29%)	3 (3%)	20 (5%)	401 (22%)
	いいえ				
③ 白杖をついている人が電車内で席を探せずに困っていました。その際、自主的に声をかけますか。	はい	963 (73%)	75 (74%)	319 (73%)	1,357 (73%)
	状況によって変わる	272 (21%)	12 (12%)	101 (23%)	385 (21%)
	いいえ	59 (4%)	13 (13%)	19 (4%)	91 (5%)
④ 日ごろから意識し、障がいのある方へ配慮していることはありますか。	はい	955 (72%)	54 (53%)	268 (61%)	1,277 (68%)
	いいえ	340 (26%)	42 (41%)	171 (39%)	553 (30%)
⑤ 障がいのある方への支援・配慮について、あなたの身の回りで変化が感じられたことがありますか。	はい	852 (64%)	44 (43%)	216 (49%)	1,112 (60%)
	いいえ	435 (33%)	49 (48%)	223 (51%)	707 (38%)

※下記グラフ参照

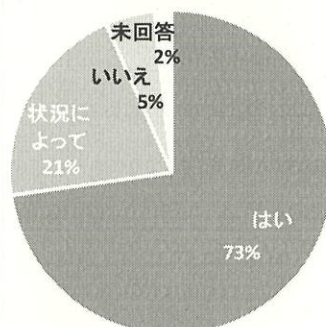
① 障害者差別解消法が施行されたことを知っていますか。



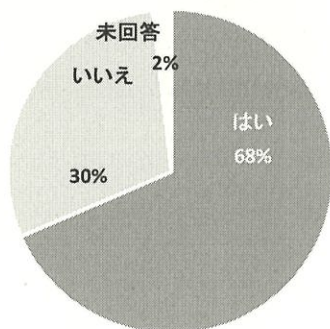
② 障害者差別解消法にかかる研修に参加したことがありますか。



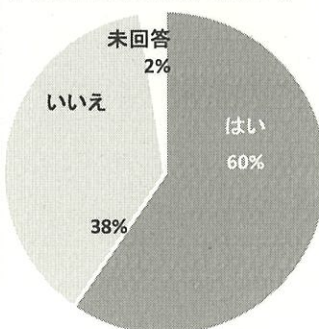
③ 白杖をついている人が電車内で席を探せずに困っていました。その際、自主的に声をかけますか。



④ 日ごろから意識し、障がいのある方へ配慮していることはありますか。



⑤ 障がいのある方への支援・配慮について、あなたの身の回りで変化が感じられたことがありますか。



令和2年7月

茅ヶ崎市福祉部障害福祉課

設問③～⑤にて回答頂いた内容（③は「状況によって変わる」「いいえ」のみ）をまとめています。

③ 次の状況を想定して回答してください。

白杖をついている人が電車内で席を探せずに困っていました。その際、自主的に声かけをしますか。

状況によって変わると回答した人の理由

分類	回答内容
混雑状況による	<ul style="list-style-type: none"> <li>・混雑時など気づいても声をかけづらい。</li> <li>・対応ができる状況であれば声をかけます。</li> <li>・車内の混雑状況により、自身が動くことで、迷惑になる可能性があるため。</li> <li>・電車内の混雑状況やその人との距離があるかどうか。</li> <li>・空席があればご案内するが、そうでなければ特に声かけすることはないと思うため。</li> </ul>
近くにいれば声をかける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その方の近くに優先席があるか確認し、自分が近くにいる場合はすぐに声をかける。</li> <li>・満員に近い状況で人混みをかきわけてまではいかないと思う。</li> <li>・込み具合やその人との距離による。</li> <li>・自分がすわっている目の前で困っていたら対応するが、なかなか勇気がいる。</li> <li>・近くにいれば声をかけるが、距離がある場合は、わざわざ声をかけに行かない。</li> <li>・混雑時や距離がある時は気づいても声をかけるのが難しい。</li> <li>・満席時に座っている人を立たせることは難しい</li> <li>・自分が近くにいれば声をかけるが、まずは白杖をついている方の近くにいる方が積極的に声をかけるべきと考えます。</li> </ul>
周囲の人の状況次第	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周囲の人の状況を見て必要であれば声掛けをする</li> <li>・混雑状況や周囲に声をかけてくれそうな人の有無で対応を変えたいと思います。</li> <li>・誰も手を差し伸べていないようであれば、手助けする。</li> <li>・他に付き添いの方がいるのか否かを確認して対応する。</li> <li>・周囲の状況を見て判断する。</li> <li>・自分より「近く」にいる人が行動した方が効果的と判断したとき</li> <li>・自分以外に声をかける人がいなければ勇気を出して声をかける。</li> <li>・近くに声をかける人がいるかどうか判断する。</li> <li>・お連れの方がいる、混んでいて他に人がいるなど状況によっては声をかけない。</li> </ul>



③ 次の状況を想定して回答してください。

白杖をついている人が電車内で席を探せずに困っていました。その際、自主的に声かけをしますか。

状況によって変わると回答した人の理由

自分が座っていれば譲る。	<ul style="list-style-type: none"><li>・自身が車内で着席している場合は、譲る席が確保出来ているため声がかけやすいが、そうでない場合に既に着席している全くの他人に席を譲るよう促す交渉はしづらい</li><li>・自分が席に座っていればゆずるが、自分も立っている状況なら一緒に席を探すことまではしないと思う。</li><li>・自分が席をゆずれなければかけられない。また、一概に声をかけるというのが突然の声かけは危ないので肩を軽くたたくななどが必要。</li><li>・自分が席に座っていたら譲りたいが、電車が混んでいてどこも空いていなかったらどうしたらいいかわからない。</li><li>・自分の席を譲る等ができる場合は声をかけると思うが、それができない場合は声のかけ方がわからない。</li></ul>
困っていれば対応する。	<ul style="list-style-type: none"><li>・いちいち声をかけられたくない人もいると聞いたことがあるから</li><li>・正しい声のかけ方が分からないため。</li><li>・声がかけられそうであれば声をかける。</li><li>・障がい者と思われる人がいた場合、困っていることがないか気にしている。</li><li>・困っている様子が見受けられたら声掛けを行う。</li><li>・ヘルプマークを付けている方がいた場合は、困っている様子であれば声を掛けるようにしている。</li><li>・以前、席を譲ろうとしたら失礼だと言われたことがある。その方が本当に困っているかわからない時は声かけしない。</li><li>・本当に困っているかわからない。</li><li>・はっきりと席を探せずに困っているとわかれば声をかける。</li><li>・相手の人格が分からないから。</li><li>・(健常者・障がい者に関わらずだが)、その方自身が話しかけやすい雰囲気かどうかによる。</li><li>・状況によって異なりますが、そもそも席を探せずに困っているかを把握することが難しく、困り度も外見だけで判断しかねるところ。困っていれば声をかけます。</li><li>・相手が声かけを求めているのか分からない。</li><li>・どういう状況で困っているかを考えて対応する。</li></ul>

③ 次の状況を想定して回答してください。

白杖をついている人が電車内で席を探せずに困っていました。その際、自主的に声かけをしますか。

状況によって変わると回答した人の理由

<p>困っていれば 対応する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前に杖をついている人がドアを開けようとしていたので、開けてあげたところ「ほかの人に開けられると倒れる可能性があるので開けないでほしい」と言われた。それからは、まず状況を考えて行動するようにしている。</li> <li>・迷惑にならない様子であれば、声をかけます。</li> <li>・ご自身で解決されたい方もいらっしゃると思うので、明らかに困っている等でなければ声はかけないと思います。</li> <li>・白杖をついている人＝イスにすわりたいとは限らない　すぐに降りるから、手すりでもいいんですと言われたことがある</li> <li>・以前声をかけて怒鳴られた事がある。(よけいな世話だと)</li> </ul>
<p>自助</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自助ができる状況であるなら、あえて先回りしてあれこれしてしまうのは本意ではないと考えるため。</li> <li>・自分から動く人もいる。</li> <li>・障がい者本人の能力、意欲を妨げない範囲での誘導を行う。</li> <li>・様子を見て助けが必要だと判断してから声をかける。</li> <li>・本人が援助を必要としているかどうかによるため。</li> <li>・ご本人の自立心が強く、大丈夫ですと断られた時もありました。</li> <li>・安易に助けることが本当の意味で助けになるとは考えていないため。</li> <li>・何でもかんでも声をかけるのではなく、その人が何をしたいのか、どうしたいのか動きを見て、自分が声をかけようかと判断したら行動する。</li> </ul>
<p>そのほか</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・解決策(＝空き席)がない場合は無意味である。誘導の際に転倒等の事故が発生した場合、責任を問われる可能性がある。</li> <li>・体調が悪そうときや荷物を持っている場合。</li> <li>・白杖をついている人がなぜ席に座らなければならないか、その人よりも高齢の方がいた場合はどうするのか、その人が自らお願いしない限り手助けはしない。基本的には声掛けをしたいが、マスクの着用の有無等により、行動が変わると考えられる。</li> <li>・混雑状況や自身の状況によっては、他の人に譲ってもらうこともあるため。</li> <li>・自分の体調等で声をかけない場合もあるため。</li> <li>・異性の場合は、ためらう可能性があるため。</li> <li>・接し方に自信がないため。</li> <li>・緊急性を要すると感じた時。</li> </ul>



③ 次の状況を想定して回答してください。

白杖をついている人が電車内で席を探せずに困っていました。その際、自主的に声かけをしますか。

状況によって変わると回答した人の理由

そのほか	<ul style="list-style-type: none"><li>・障がいマークを付けている車輻に優先スペースが空いていることを教える。</li><li>・以前、白杖を付いている人が困っていたので声を掛けたところ、異性でしたが近くのトイレまで連れて行ってほしいと言われたので案内したところ、トイレの中の詳しい説明を要求され、その後、バス停まで案内、最後は手をつないで、もう少しいてくださいと言われ、親切心を裏切られたような不快な経験をしました。声掛けに不安があります。</li><li>・目の不自由な方がホームにいたら、一緒に乗りましょうと声をかけ、ホームから落ちないように配慮している。</li><li>・障がいの有無に関わらず、窓口で困ったことがありそうな来客者には、積極的に声掛けをしている。</li><li>・点字ブロックの上を歩かない。</li><li>・杖を落とした人がいたら拾う。</li><li>・目が見えなくても想像しやすいように説明をする。</li><li>・視覚障がいの場合、可能であれば手を引いて誘導する。</li><li>・話し方や案内時に相手が困っていないか確認しながら進める。</li><li>・声掛けや手助けをする際も、相手が障がい者であることを意識することの無いように、立ち振る舞うことを心掛けている。</li><li>・その人が座った方がいいのか、立ったままがいいのか聞いてみる。</li><li>・先入観にとらわれず接するように気をつけている。また業務の中では、障がいの特性ごとに理解して対応するようにしている。</li><li>・小さい子ども連れだと厳しい時がある。</li><li>・声をかけるために席をはずしたら別の人がすわってしまう可能性がある時など。</li><li>・率先して行動することを躊躇してしまう。</li><li>・危険要素を感じた時。</li></ul>
------	---

③ 次の状況を想定して回答してください。

白杖をついている人が電車内で席を探せずに困っていました。その際、自主的に声がけをしますか。

いいえを答えた人の理由

分類	回答内容
<p>声のかけ方がわからない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・声をかけてよいものか判断に迷う。</li> <li>・接し方が分からないため</li> <li>・声のかけ方がわからない。</li> <li>・驚かせてしまわないかなど、声のかけ方が難しく感じます。</li> <li>・声をかけても、どうすればよいかわからないため。</li> <li>・どこから声をかければ良いかわからないため。</li> <li>・視覚障がいのある方の誘導方法があいまいに記憶しているので声をかけるにはとまどいます。</li> <li>・どの様に声をかけ、席まで進めば良いかが分からないため。</li> </ul>
<p>判断が難しい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本当に席を探しているのかわからないため。声を出して探している意思表示をしていただければ助けるかもしれませんが。視覚障がい者は周りを見回したりしないため身振りからわかりにくい。</li> <li>・白杖を使っている方などたまに見かけますが、ご自身のペースで動いていらっしゃるようで、あまり困っている様子の方に出会わないため。</li> <li>・下手に声をかけて迷惑になるかもしれないと思ってしまう</li> <li>・困っているかの判断が難しく、声をかけることをご本人が望んでいないこともあると考えるため。</li> <li>・迷惑がられたらどうしようと思うから。</li> </ul>
<p>そのほか</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勘違いなどによるトラブルを避けるため。</li> <li>・話す機会がない。</li> <li>・面倒だから。</li> <li>・急に声をかけて転倒してしまうのではないかと思い、声掛けをためらってしまう。</li> <li>・多分勇気がない。断られた経験があるから。</li> <li>・ひとみしり</li> </ul>



④ 日ごろから意識し、障がいのある方へ配慮していることはありますか。

はいを答えた人の内容

分類	回答内容
<p>困っている様子があれば声をかける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・困っている様子があった場合は声をかける（ヘルプマークをつけている方など）。</li> <li>・何か困っていることはないか、自分にできることはないかを考え、声をかけるようにしている。</li> <li>・過度に意識し過ぎると失礼にあたる場合もあるので、困っていそうな時に声をかける。</li> <li>・困っている様子がないか確認する。</li> <li>・ご自身で対応出来そうな時は無理に手を出したり、声をかけたりしない。</li> <li>・困っている様子なら声をかけるが、声をかけて大丈夫そうなら何もしない。</li> <li>・なるべく声をかけている。</li> <li>・困っている方を見つけたら声を掛けるようにしています。</li> <li>・声かけが必要な状況か見守る。</li> <li>・様子を見て声掛けをする。</li> <li>・困っている方を見かけたら、見守りしてその後声を掛ける。</li> <li>・困りごとがないか気にかける。</li> <li>・支援の有無の検討・交差点等の危険な場所で戸惑っていたら注意してみるようにする。</li> <li>・困難の度合いを考える。</li> <li>・自立をさまたげない範囲での手助け。</li> <li>・街中で見かけると気に掛ける。</li> <li>・手助けできること（困っていること）がないか様子を見ている。</li> <li>・障がい者に限らず、困っている方へは声掛けをしている。</li> <li>・様子を見ながら声をかけるようにしています。</li> <li>・まずは様子を見て、声かけなどのお手伝いをさせて頂いても良いかを確認してからにしている。</li> <li>・白杖、盲導犬、ヘルプマーク等を見た場合は、その時その場で困っていることがないか確認（目視）を最低限するようにしている。</li> <li>・ヘルプマークが付いているか確認するようにしています。</li> <li>・駅のホームでは声をかける。</li> <li>・ヘルプマークがある人は何に困っているかを意識し、状況に応じて助けることができるようにしている。</li> </ul>

④ 日ごろから意識し、障がいのある方へ配慮していることはありますか。

はいを答えた人の内容

<p>困っている様子があれば声をかける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢・しぐさ等で声をかけるか考える</li> <li>・困っていたり、手助けが必要だったら、声をかけるよう心がけている。</li> <li>・ヘルプマークが付いているか確認するようにしています。</li> <li>・駅のホームでは声をかける。街中で困っている様子なら声をかける。</li> <li>・障がいがあるなしにかかわらず、その方の困っていることやニーズが何かを考えて行動している（見ただけで分からない障がいもあるため）</li> <li>・本人の意思を尊重して対応している</li> <li>・目視にて障がいのある方だと判断できる場合、その方が周囲に対して助けを求めているかを確認し、確認できるときは自分ができる範囲で手を差し出します。</li> <li>・目配りはしていると思う。助けが必要そうな時は、声をかける</li> <li>・障がい者の方が困っていないかという視点で見ようとしている</li> <li>・不便に感じている状況にないか事故（特に交通事故）にあいそうな状況にないか注視する。</li> </ul>
<p>障がいのある方を特別視しないようにしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別視しないように心がけている（良い意味で）。</li> <li>・障がい者だからという特別な対応はあまり考えず、本当に必要と思われる時には声かけを行う。</li> <li>・他の人と同じように接しつつ、届かないところ（エレベーターのボタン）があればお手伝いするなど。</li> <li>・相手のペース・特性・要望・状況に合った対応を心がける。</li> <li>・障がいの内容・状況によって配慮すべきことを変えながら対応している。「〇〇障がいだから」という理由のみで一律の対応はしない。</li> <li>・何も意識しないこと。</li> <li>・職場ではあまり意識し過ぎないことに気を付けている。</li> <li>・障がいがあるなしにかかわらず、その方の困っていることやニーズが何かを考えて行動している（見ただけで分からない障がいもあるため）</li> <li>・目の不自由な人、声が出ない人、身体が不自由な人へ注意をするとともに、困っていたら、本人が希望しているか確認ができたときに手助けをさせていただきます。</li> <li>・差別や傷つくような発言をしないよう配慮している。</li> </ul>



④ 日ごろから意識し、障がいのある方へ配慮していることはありますか。

はいを答えた人の内容

<p>点字ブロックに対する配慮をしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・街や駅ではなるべく点字ブロックを歩かないようにしている</li><li>・点字ブロックの上に自転車を止めないようにしている</li><li>・点字ブロックへの配慮。</li><li>・点字ブロックの上を歩かないように、物を置かないように意識している。</li><li>・でこぼこしたところを歩かない。</li><li>・視覚障がい者用のプレートの上は歩かないようにしている。</li><li>・白杖を持っている方の進路を塞がない。</li><li>・点字ブロックを遮らない</li><li>・白杖をついている人が点字ブロックをたどって歩いていたら、邪魔にならないように間を取って歩く。</li></ul>
<p>場所を塞がない。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・車いすの方の通行の妨げにならないよう気をつけている。</li><li>・車いす利用の方や盲導犬を連れている方とすれ違う際は、ぶつからないよう距離を空ける。</li><li>・邪魔にならないように道をあけたり、様子を見て声掛けをする。</li><li>・通り道を塞がない。</li><li>・白杖を使用している人や盲導犬を連れている人に道を空けるようにするなど。</li><li>・道をゆずるなど。</li><li>・通勤途中で車椅子を使用している人と出会うが、通行の妨げにならないようにしている。</li><li>・こちらが、自転車、バイク、自動車運転中に路肩を歩く姿を見かけたら、しっかり減速して距離を取って、余計な音を立てないようにする。</li><li>・白杖をついている人が正面から来られた際、進行方向の邪魔にならないように心がける。</li></ul>

④ 日ごろから意識し、障がいのある方へ配慮していることはありますか。

はいを答えた人の内容

<p>障がい特性に応じた対応をしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・身近にいる目の不自由な方に危険がないよう声をかけている。</li><li>・白杖をついている方が電車のホームなどの危険な場所を歩いている時は特に注意して見届ける。</li><li>・聴覚障がいの知り合いと会う時に、なるべく口を大きく開けて話したりジェスチャーでコミュニケーションをとり、孤立しないよう心がける。</li><li>・普段（仕事以外）では、障がいがあるとわかれば、その方に配慮して行動している（白い杖をついていれば席を譲るなど）。</li><li>・障がい者の状況に応じた配慮（障がいは一様ではないと思うので）。</li><li>・車いすの人がいたらエレベーターのボタンを操作する。</li><li>・相手が理解できる表現で話す。ペースを合わせる。</li><li>・目が見えない方を念頭に置き、対処できるようにしている。</li><li>・来庁者で足の不自由な方がいた時は席を勧める。</li><li>・窓に来庁される方もいるので、身体に障がいのある方については、着席や文書の記入時にお手伝いをしたりしています。</li><li>・窓口対応時、イスの移動など。</li><li>・障がいに応じて、筆記による対応など、できる限り対応できるよう心掛けています。</li><li>・どのような障がいがあり、どのように接するとよいか相手を見て考えるようにしている。</li><li>・話し方、わかりやすい言葉の使用、筆談、読み上げなど、コミュニケーションの方法。</li><li>・聴覚障がいのある方がいる会議では、マイクを使用する。</li><li>・ちらしを作成する際に色盲の方でもわかるような配色にする。読み、書きが難しい人がいるため、文字にするだけでなく、分かりやすい言葉にする。</li><li>・エレベーター等に乗る際、車椅子等の方がいたら、先に乗ってもらうようにする。</li><li>・身体的障がいをお持ちの方へは、出入口のドアを開けたり、公共交通機関で席を譲るようにしている。しかし、ヘルプマークなど、内部障がいの方へはどのように配慮すべきかあまり分かっていない。接する機会は多くないが、例えば耳が不自由であれば、ゆっくり大きな声で話す。</li><li>・筆談をするなど、その方の状況に応じて対応したいと思っている。</li></ul>
--------------------------	--



④ 日ごろから意識し、障がいのある方へ配慮していることはありますか。

はいを答えた人の内容

障がい特性に応じた対応をしている。	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 仕事を行う上で障がい者が健常者同様にサービスを楽しむことができるよう考慮している。</li><li>・ 視覚や聴覚障がいの方への資料、ホームページを作成する。(配色や文字フォント等に気を付ける)</li><li>・ 車いすの方などと接するときは立った状態ではなく目線を合わせるために、腰を低くして会話をするよう意識している。</li><li>・ 視力弱者の方に信号が赤から青が変わるときに伝える。</li><li>・ 身体の方…不自由がないか。精神の方…基本的に普通に接するように、かつ、言葉遣いに気を付ける。</li><li>・ 分かりやすい説明を意識している。</li><li>・ バスの乗り降りの際に声をかけるようにしている。</li><li>・ 障がい者雇用も受け入れるようにし、一人ひとりに合った職場環境にできるよう声かけをしている。</li><li>・ 多機能トイレは使わないようにしている。</li><li>・ 身体機能に応じた対応 (声の大きさ、筆談、文字の大きさ・配色、わかりやすい言い回し、適切な窓口への案内) を心がけている。</li><li>・ エレベーター等に乗る際、車椅子等の方がいたら、先に乗ってもらうようにする。</li><li>・ 身体的障がいをお持ちの方へは、出入口のドアを開けたり、公共交通機関で席を譲るようにしている。しかし、ヘルプマークなど、内部障がいの方へはどのように配慮すべきかあまり分かっていない。</li><li>・ 接する機会は多くないが、例えば耳が不自由であれば、ゆっくり大きな声で話す</li><li>・ 視覚障がい者へ声かけ (電車、駅ホーム) ・自然に対等に接するようにしている。</li><li>・ 視覚障がいや身体障がいの方が道路を横断する際に気を配り、必要であれば声をかけるなど。</li><li>・ バス停で待っていた方が違うルートバスに乗ろうとしていたため声をかけた</li><li>・ 設計者にバリアフリーについて、建物指導を行っている。呼吸器 (移動用) をつけた方にゆっくりご案内する。</li><li>・ 以前職場に聴覚障がいを持った方がいたため、大きな声で話すよう心掛</li></ul>
-------------------	--

④ 日ごろから意識し、障がいのある方へ配慮していることはありますか。

はいを答えた人の内容

<p>障がい特性に応じた対応をしている。</p>	<p>けていた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・足が不自由な方に物を頼む際、配布物を願う場合は近場を願うし物を持つ場合は軽いものを願うする等。</li> <li>・私自身もヘルプマークを身に付けていますが、体調が良い時には優先席を高齢者、妊産婦、障がい者に譲るように心がけています。</li> <li>・発達障がいの方への視覚的にわかりやすい案内・信号を渡る時に白杖の方がいないかを毎回確認する。</li> <li>・どういう配慮をした方が良いか考えながら接するように気をつけています</li> <li>・自動車などで横を通るときなど、スペースを広くとったり、スピードを落として相手に恐怖心が起こらぬようにしている。</li> <li>・車イスの人がエレベーターに乗る時は開ボタンを押して見守ります。</li> <li>・視力障がいの方がホームから転落することがあったとニュースでみるので、声をかけて様子をみます。</li> </ul>
<p>伝え方の工夫をしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務上、耳の不自由な方との連絡は全てメールや郵便で行ったり、積極的に手話・要約筆記を活用したりしている。</li> <li>・窓口で代筆や筆談で対応している。</li> <li>・視覚障がい者の方へ書類記入などの補助している。</li> <li>・障がいの方の求めていることにより異なりますが、窓口での筆談などを行っています。</li> <li>・筆談の対応・窓口業務で障がい者と対応することがあります。耳の不自由な方とは筆談、携帯端末に入力するなどスムーズにやりとりできるよう努めています。</li> <li>・より積極的な声掛けや、状況により筆談など適切な方法で対応することを心掛けている。指令情報課では、聴覚障がいや言語機能又はそしゃく機能の低下により、音声で会話することが困難である方に対して、「緊急通報システム（NET119）」を運用し対応しています。このサービスは、スマートフォン又は携帯電話のインターネット回線を活用し、119番通報できるものです。</li> <li>・障がいのある方への対応について、障がいの程度に合わせて筆談を行ったり、また、どのような対応をすれば意思疎通が取りやすいか見極めて業務にあたっています。</li> </ul>



④ 日ごろから意識し、障がいのある方へ配慮していることはありますか。

はいを答えた人の内容

<p>伝え方の工夫をしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災がい出動等（救急事案）で障がいのある方への接し方を職員間で定期的に研修を行い、現場で相手の気持ちになって対応、行動できるようにしている。</li> </ul>
<p>そのほか</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電車やバスで席を譲る。</li> <li>・ 駅のホーム等で見かけたときは声掛けをしたうえでホームの中央寄りに誘導するよう心掛けている。</li> <li>・ 車いす等で横断歩道を渡っているときに注意深く見守り、渡り切れなと感じたときは声掛けをしたうえで車いすを押しよう心掛けている。</li> <li>・ 障がい者が帰られる際、可能な限り館の外まで付き添う。</li> <li>・ 特に視覚障がい者の方と話をするときに、少し離れたところからまず大きな声で声をかけてから近づくようにしている。（至近距離で話されて相手も不安を感じないように）その他弱者への配慮、ベビーカーと荷物の多い親子なども声をかけるようにしている。</li> <li>・ 合理的配慮の提供事例に記載のあるような案件は日常的に実施している。</li> <li>・ その場の状況により、危険だと感じれば気にするようになっている。</li> <li>・ 遠方に住む聴覚障がいの義母と定期的に FAX で連絡を取り、困ったことや安否を確認し対応している。</li> <li>・ 障がい者差別解消法の趣旨・目的を念頭に置いて業務に従事している。</li> <li>・ ホームページ作成時にアクセシビリティに気を付けている。</li> <li>・ 仕事において、様々な障がいをお持ちの方に対応できるよう窓口レイアウトなどに気を付けている。</li> <li>・ 身内に障がいをもつ者もいる。人ごととは、とらえられない。</li> <li>・ 手話等の勉強</li> <li>・ 電車、バスを乗るときは、まわりに高齢の方や、妊婦さん、体の不自由な方がきちんと座れて安全か、みて確認してます。立ってたら、席を空ける。声をかける。（相手からしたら、よけいなお世話になるときもありますが・・・）</li> <li>・ 車いすが登れなような段差やバスの乗車時（バスの運転手だけでは大変なので重症心身障害児の子が近くにいたら広い席はあけておいたり、自分がかげ引いたら近づかない。</li> <li>・ 視線を向けない。</li> <li>・ 仕事中に採尿室をハンディの広い所をすすめるなど。</li> </ul>

④ 日ごろから意識し、障がいのある方へ配慮していることはありますか。

はいを答えた人の内容

そのほか	<ul style="list-style-type: none"><li>・音の出ない信号機の横断歩道を渡るとき声をかけるようにしている。</li><li>・車イスの使用のことはカルテに記載しておき、あらかじめイスをどけておくなどしている。その他、細かくつらいことなどをメモしている。</li><li>・ドアをあけてあげるなど。</li><li>・できるだけ自然に。</li></ul>
------	--



④ 日ごろから意識し、障がいのある方へ配慮していることはありますか。

いいえを答えた人の内容

分 類	回 答 内 容
<p>配慮を必要とする機会に出会わない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいのある方と接触する機会がないため。</li> <li>・あまり配慮を必要とする場面に出会うことがない。</li> <li>・身近に見かけない。</li> <li>・場面に出会うことがあまりないと思います。</li> <li>・バイク通勤なので、出会う機会がないため。</li> <li>・あまり場面に出会う機会が無い（コロナ対応であまり外出しない）。</li> <li>・配慮する場面に出会えば対応できたらと思う。</li> <li>・出会うことが少ないです。</li> <li>・困っている人がいれば手をさしのべるが、困っていない人まで声をかけに行くことは逆に失礼になるので気を付ける。</li> <li>・明らかに困っており、原因がわかれば助けることに配慮するが、助けを求めている場合には配慮しないため。</li> <li>・SOSが出ていれば。あとは、セルフケアでみている。</li> </ul>
<p>特に意識していない</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいのある方とわかれば配慮するが、日頃から意識はしていない。</li> <li>・日頃、意識していない。</li> <li>・あまり意識していない。</li> <li>・困っている方がいたら声をかけるが、具体的にいつも取り組んでいることはない。「障がい」というよりは個人の特性と捉えているので、意識していない。</li> <li>・プライベートでは特別に意識できていない（HP など仕事上は意識している）。</li> <li>・常に気にしているというわけではなく、気が付いたら配慮はします。子供をみてるので気がつかないこともあります。</li> </ul>
<p>障がいのある方なのか判断が難しい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外見上、障がいのある方かどうか認識することが難しい。見て見ぬふりをしてしまうこともある。</li> <li>・障がいがあるのか目視では判断できないため。</li> <li>・障がいのあるなしは外から見てはわからないので、どの人にも困っていることが分かれば、気を配る。</li> <li>・明らかに困っていることがわかれば配慮していますが、なかなか接する機会が少なく、どんな配慮が必要かの知識が足りない。</li> </ul>

④ 日ごろから意識し、障がいのある方へ配慮していることはありますか。

いいえを答えた人の内容

<p>障がいの有無に関係なく配慮している。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・基本的には自分で出来ることは自分でやってもらい、必要に応じて手助けする。</li><li>・誰に対しても同じように接するため。常に目配りをしています。</li><li>・見た目では判断ができないから、だれに対しても配慮する</li><li>・障がい・健常関係なく力を貸せることがあれば行動する。</li><li>・障がい者を優遇するのではなく、合理的配慮を常に意識している。</li><li>・外出している障がいのある方は概ね自分でこなせていると思われるので、特別な配慮ではなく常識的な範囲内で事足りるのでは。</li><li>・障がいと目に見える部分に対して、特別扱いが嫌な人もいると考えるから。</li><li>・障がい者であれ、健常者であれ、同じ人間であり特段の配慮はかえって差別を生じさせることもある。できないことはサポートしてあげたいと思うが、お願いされた場合のみである。やってあたり前と思われるのは何か違う。</li><li>・過度に配慮しないようにしている。</li><li>・障がいあるなしに関わらず、わかりやすい書類、資料を作るようにしている。(色、大きさ)</li><li>・障がいのある方と接することがない。</li><li>・障がいのある方が近くにいても、人として配慮ある行動はしている分らない時もある。</li></ul>
<p>そのほか</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・行動をおこす勇気がない。</li><li>・道ですれ違う時に障がい者が曲がらずに歩けるようにする。</li><li>・付きそいの方がいらっしゃる場合が多い。</li><li>・怒鳴られてからしなくなった。</li><li>・極端な特別扱いは失礼になることもある。</li><li>・配慮という言葉が適切か難問。</li><li>・配慮した方が良いか迷うときがある。おせっかいにならないか心配である。</li><li>・何に困っているのか、自分がすべきこと(配慮すべきこと)が分からない。</li></ul>



- ⑤ 障がいのある方への支援・配慮について、あなたの身の回りで変化が感じられたことがありますか。

はいを答えた人の内容

分類	回答内容
<p>バリアフリー化が進んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的にバリアフリーの充実化が図られている。</li> <li>・物理的バリアフリーの進んだ建物が増えた気がする。</li> <li>・公共施設等のバリアフリー化が進んでいる。</li> <li>・施設のバリアフリー対応。</li> <li>・建物のバリアフリー化が進んだと思います。</li> <li>・バリアフリーの充実化が図られている（スロープや信号の音声案内など…）。</li> <li>・スロープ等バリアフリー設備が増えた。</li> <li>・社会的にバリアフリーの充実化が行われている。</li> <li>・学校教育などで、バリアフリーという言葉をよく耳にする。</li> <li>・建物、通路等、新しいものはバリアフリー対応となっている。</li> <li>・公共施設（道路等）の構造がどんどんバリアフリーになっている。</li> <li>・バリアフリーやユニバーサルデザインへの配慮が進んでいる。</li> <li>・新しくできた建物はバリアフリーである。マンションなど。</li> <li>・建物がバリアフリーになっている場合が多くなり、JR 東海道でも車掌が乗り降りに介助していることを最近よく見かけます。</li> <li>・障がい者の人も外出の機会が多くなっているような気がします。</li> <li>・バリアフリー、盲導犬可の区域増。</li> </ul>
<p>研修等で障がいについて知る場が増えた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修や広報が増えているように感じるため。</li> <li>・教育の場（高校など）でも共に学ぶ環境があり、他の生徒にとっても良い影響があったと生徒の言葉から聞いたことがある。企業としても従業員へバリアフリー講習を行っているという話もよく聞くようになった。</li> <li>・障がい者対象の就労支援が広まってきている。</li> <li>・視覚、聴覚、身体的な配慮の必要な方など、様々な方が、講演会、講座などの事業に、以前よりも参加されるようになった。</li> <li>・政府、県レベルの記者会見では、必ず手話通訳がいること。</li> <li>・障がいのある方への支援、配慮について皆で考え、思いやりのある行動をとれるようにしようというアピールができてきている。（差別をなくす教育ができています。）</li> </ul>

- ⑤ 障がいのある方への支援・配慮について、あなたの身の回りで変化が感じられたことがありますか。

はいを答えた人の内容

<p>音声案内での対応。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駅で視覚障がい者へのサポートを促すアナウンスがされるようになった</li> <li>・ 施設等のアナウンス。</li> <li>・ 盲目の方のための音声案内が増えた。</li> <li>・ 駅で車いすの方でも駅員さんの補助により、安心して電車に乗れる配慮がされている。</li> <li>・ 一部の店舗で盲導犬入店可のステッカーが貼られているのが目に付く。</li> <li>・ 音声解説や字幕付きのテレビ番組が増えている。</li> <li>・ 自分自身が良く気づくようになったのは車イスの方が電車に乗る時に業務アナウンスがかかっていること。前は気づかなかったので…</li> </ul>
<p>バリアフリー等ハード面の整備に変化がみられる。 (具体例)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 信号機の音声対応、スロープの設置、ボタンへの点字表示。</li> <li>・ 多目的トイレが増えた。</li> <li>・ 新しく舗装された歩道に点字ブロックが設置された</li> <li>・ 社会的にバリアフリーの充実が図られてきているが、例えば車いすの方が入りづらい扉なども見受けられるので、まだまだ改善が必要であると思う。</li> <li>・ バリアフリーが拡充している（スロープ、エレベーター、段差のないフロアなど）</li> <li>・ 駅の音声案内で場所がわかりやすいように、スピーカーの位置が配慮されている。</li> <li>・ 専用トイレが増えている。</li> <li>・ 表示や案内が増えた。</li> <li>・ 耐震補強工事に際し、スロープの設置、トイレ改修、点字ブロック設置などが行われた。</li> <li>・ スロープや点字ブロック、音付きの信号機は増えてきているように感じている。しかし、まだまだバリアフリーの充実ができていないように感じられない。</li> <li>・ みんなのトイレが増えたと思う。</li> <li>・ 多目的トイレが増え、障がいのある方（車イスやオストメイトなど）への配慮を感じる。</li> <li>・ 香川駅前にオストメイトの方用のトイレがあった。</li> <li>・ 車いす用にエレベーターにミラーが設置されている。</li> <li>・ スロープが増えている。</li> </ul>



- ⑤ 障がいのある方への支援・配慮について、あなたの身の回りで変化が感じられたことがありますか。

はいを答えた人の内容

<p>バリアフリー等ハード面の整備に変化がみられる。 (具体例)</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・公園等でも点字ブロックやスロープが設置されたり、配慮されたスペースが増えた気がする。</li><li>・音声が出る信号、エレベーターなど。</li><li>・ユニバーサルデザインやアクセシビリティなど身近な機械（スマホなど）に採用されている。</li><li>・講演、講座等での磁気ループの使用や手話通訳者の配置。</li><li>・逆に電車のホームなど点字ブロックがあるけど危険。バリアフリーは少しずつ充実してるとは思いますが、道路などきれいになるといいです。</li><li>・足元に動線を示す矢印をよく見かけるようになった。ふだん意識することは少ないが、支援として役立っているのだと思う。</li><li>・専有駐車場が増えてきた。</li><li>・施設等の駐車場で、以前は障がい者用駐車スペースに一般の方が駐車していたが、最近では、障がい者用駐車スペースには、一般の方が駐車していないように感じている。</li><li>・筆談対応の表示をよく見るようになった。</li><li>・駅の転落防止装置設置やエレベーターの設置（件数の増加）</li><li>・自動販売機等車椅子の人も手が届くよう配慮されているものが増えた。</li><li>・ユニバーサルデザインタクシーが増えた。</li><li>・歩道の勾配が車いすの通行に支障がないか。</li><li>・ノンステップバスをよく見かけるようになった。</li><li>・かなり昔から階段しかなかった私鉄の駅でも、大規模な工事により、エレベーターが設置され使いやすくなった。</li><li>・見やすい、読みやすい文字やマークが増えた。</li><li>・字幕か手話、ピクトグラムなどを目にするが増えた。</li><li>・各鉄道駅でエレベーターの設置が増えた。歩道に誘導プレートも多く設置されるようになった。手すりに点字がついたものが増えた。介護犬同伴OKの店が目に入るようになってきた。</li><li>・駅内での車イス対応に関し、各駅と連携がとれていると感じている。</li><li>・（聴覚障がい者標識）などのマーク。</li><li>・バスに乗るステップ台が低くなっている。</li><li>・耳の不自由な人が困らないような、コミュニケーションツールができていく（モバイル端末などを介して、手話で通訳できるようです）</li></ul>
--	---

- ⑤ 障がいのある方への支援・配慮について、あなたの身の回りで変化が感じられたことがありますか。

はいを答えた人の内容

<p>バリアフリー等ハード面の整備に変化がみられる。 (具体例)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母が聴覚障がい1級。対話の仕方（ジェスチャー含む）を工夫して対応しています。</li> <li>・ショッピングセンターなど人がたくさんいるところにも呼び出しボタンや点字など工夫されている</li> <li>・さまざまな障がい者のマークが公共の場で掲示されている。</li> <li>・聴覚障がい者に対する、文字板（電光掲示板）の表示、鏡の設置（出会い頭）、バリアフリーの道路や施設が増えている。</li> <li>・電車で車椅子から乗れるようになっていたり、階段だけではなくスロープがついているお店が増えていたり点字ブロックが様々な場にあったり。</li> <li>・少しずつ駅の転落防止のガードが増えてきた。</li> <li>・電車で車椅子から乗れるようになっていたり、階段だけではなくスロープがついているお店が増えていたり点字ブロックが様々な場にあたり。</li> </ul>
<p>支援方法等対応や社会の意識的変化がみられる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電車の乗り降り・公共交通機関を利用する車椅子利用者への補助がスムーズになっているように思う</li> <li>・ヘルプマークが普及し始めたことから、一目で支援や配慮が必要な方であることが分かり、街でも声をかけたりしている姿を見かけることが多くなった</li> <li>・ホームドアの設置など電車の乗り降りで、以前よりも配慮されていると感じる。</li> <li>・物を置く場所への配慮。</li> <li>・障がいの枠が昔よりも広がって、様々なハンディキャップに対し理解されつつある。</li> <li>・市の文書が以前と比べるとわかりやすいものが増えてきている。</li> <li>・職員の対応がより親切、丁寧になってきている。</li> <li>・障がい者に対する気遣いをする場面を見かけることが多くなった。</li> <li>・目の不自由な方に対して、駅員さんが以前より丁寧に対応されていると感じます。</li> <li>・ひと昔前に比べると障がい者も受け入れられていると思う。</li> <li>・障がいのある方に対しての態度の変化。差別的に見る目が減ったように感じる。</li> </ul>



- ⑤ 障がいのある方への支援・配慮について、あなたの身の回りで変化が感じられたことがありますか。

はいを答えた人の内容

支援方法等対応や社会の意識的変化がみられる。

- ・公共交通機関で席を譲ったり、優先席などは以前より多く見られる気がする。
- ・当事者の声を聴いて取り組むようになった。
- ・白杖をついている人や車イスを使っている人へ、声を掛けたり、支援（誘導、周囲への呼び掛け等）をする人が若干増えた。
- ・街中で、障がいのある方へ声掛けする人を見かける機会が増えた気がする。
- ・電車内で席をゆずる人が増えている。
- ・バスの乗り降りの際の支援を見て感じました。
- ・手話などが使われる頻度が増えた。
- ・杖や車椅子を使用している人が歩きやすいように、なるべく歩道のはしを歩くようにしている。
- ・車いすの方が利用することを前提とした動線設計やトイレの設置等。
- ・共生という意識が浸透しつつあると感じる。
- ・駅やショッピング等、音声での案内が増えたと感じた。
- ・(具体的ではありませんが)同法の施行により、自分自身の中で、意識的に行動や視点をもつようになったと思う。同じような方が増えることにより、社会的にもハード・ソフトの両面から徐々に充実化が図られているかと思う。
- ・障がいのある方と関わる際は、特別扱いせず、相手が何に困っているのか、何をしたらその人が助かるのかを考えて行動しています。また、相手のペースで会話をして、思いやりのある対応を心がけています。
- ・電車に一人で乗車している車椅子を利用する方がいるのを見かける頻度が増えた。電車の乗降に協力する駅員等のおかげだと思う。
- ・以前と比較して「障がいがある方へ」の言葉を多く聞くようになり、配慮の仕方がわかってきた。
- ・天候が悪い時に特に思慮配慮するようになった。
- ・「心のバリアフリー」という言葉を聞くようになった。
- ・点字ブロックを歩いている視覚障がいをお持ちの方がいた際に点字ブロックを健常者が避けていた場面をみた。
- ・バリアフリービーチを試験的に実施した。
- ・配慮、支援をする方が増えたと感じている。一方で困っている障がい者

- ⑤ 障がいのある方への支援・配慮について、あなたの身の回りで変化が感じられたことがありますか。

はいを答えた人の内容

<p>支援方法等対応や社会の意識的变化がみられる。</p>	<p>の方を見かけることが（ほとんど？）なくなったと感じている。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・車いす用（障がい者用）駐車場に、健常者が駐車しない意識になっている（駐車場が満車でも空いている時が多い）。</li><li>・障がいの方へ自然に声かけする人が増えたように思う。</li><li>・ヘルプマークを身に着けて満員電車に乗車していたところ、マタニティマークを付けている妊婦さんに席を譲られそうになりました。あわてて「今日は体調が良いので、席を譲っていただくで大丈夫です。」と丁重にお断りしました。</li><li>・要約筆記や手話通訳など市民にも認知度が上がっているように感じる。</li><li>・公共施設や店においてバリアフリー設備や身体障がい者補助犬の入店OK等、社会の理解が進んでいる。</li><li>・若い職員の接遇の良さが目立つ。</li><li>・数年前に比べ、バリアフリーの観点が当たり前という風潮になってきた。</li><li>・障がいのある方に対する配慮の仕方が変わったと感じます。かつては、何でもやってあげるイメージがありましたが、近年はできないところをサポートする支援が支持されているように思います。</li><li>・以前は障がいのある方に対する暴言等が散見されていたが、ここ数年見えていないので、社会全体で配慮意識が高くなっているように感じる。</li><li>・通勤のバスで視覚障がいのある方が乗って来る事があり、皆さん、気が付くと席に誘導している場面を目にします。</li><li>・商業施設などでは職員が必ず出て来て手をさしのべてる姿を見る（スーパー、駅、デパート、ラーメン店など）。</li><li>・優先席等に若い人が座っているのが減った気がする。</li></ul>
-------------------------------	---



- ⑤ 障がいのある方への支援・配慮について、あなたの身の回りで変化が感じられたことがありますか。

はいを答えた人の内容

広告、SNS等により情報の共有がみられる。

- ・パラリンピックのCM。
- ・知的障がいや発達障がい、精神障がいに対する理解が深まってきたように感じる（テレビなどでもよく取り上げられている気がする）。
- ・公共の場に支援のためのステッカーやポスターなどを多く見かけるようになった。
- ・テレビでも情報が流れるようになった。
- ・ヘルプマークを持つ人が多くなり、よく見かけるようになった。
- ・多くの人が理解できるよう報道が増加していると思う。
- ・津久井やまゆり園の事件後、支援・配慮についての報道が増えたと感じる。
- ・以前よりヘルプマークについての認識をしてもらうための広告等をよく見かけるようになった。ポスターなどで配慮方法の周知を行っている。
- ・発達障がいの認知度がSNSの普及によって広まったことで、学校や職場で打ち明けやすくなったと思う。
- ・ヘルプマークなど。SNS等を通してよく知られるようになってきたと感じる。→若い人の理解が深まっている
- ・NET119を茅ヶ崎市では導入し、普及に取り組んでいるので。
- ・オリパラのおかげで、障がいが身近に感じられるようになった。
- ・障がいが多様であることの周知。ヘルプマークを周知する広報・提示物を目にする機会が増えた。
- ・バリアフリーの通路が増えた。雑誌メディア掲載も多いと感じる。
- ・Eテレなどで障がい者が積極的に発言するようになった。
- ・障がいのある方にスポットをあてたTV番組などが増えたような気がする。
- ・JR横浜駅で子供用車いすの周知ポスターを見かけるようになりました。
- ・テレビ（Eテレ等）で国・県等の発表時には手話通訳が行われている。
- ・新聞の報道（神奈川新聞）が繰り返し報道している（相模原の事件）。
- ・社会的に障がい者への理解を深めるよう広報しているように感じる。（「障害」→「障がい」へ表現の変化等）
- ・SNSで白杖をついてる方のSOSサインが拡散されていた。
- ・障がい者マークについてのCMも見かけることが増えた。
- ・聴覚障がい者の方への手話での放送が増えた。

- ⑤ 障がいのある方への支援・配慮について、あなたの身の回りで変化が感じられたことがありますか。

はいを答えた人の内容

<p>障がいのある方の雇用が進んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者雇用が増えているのか、職場で知り合う事が増え、対応する知識も増えた。</li> <li>・障がい者の方の雇用が増えている。</li> <li>・職場内では、手足の不自由な方や歩行困難な方も同じ仕事をしている。</li> <li>・働きやすい環境づくりなど。</li> <li>・職場に配置されるようになり、身近になりました。</li> <li>・様々な障がいのある方と接する機会が多い職場のため、職員の意識も高い。求められれば改善に向けて何ができるかを検討している。</li> <li>・職員でも障がいがある方が増えてきている。そのため、障がいについて話すことが増えた。</li> <li>・課で働いている方について、得意なことや障がいによって難しいことを判断しながら働く雰囲気生まれている</li> <li>・職場や雇用について優遇されていると思う</li> <li>・スーパーで働いている方を見たとき。</li> </ul>
<p>そのほか</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・盲導犬が入ることができる店が増えた</li> <li>・視覚障がいのある方に声を掛けるなど、周りが積極的に動くことが求められている。</li> <li>・車いすの方を電車の中で見るが増えた。</li> <li>・ヘルプマークのお知らせをたびたび見るようになった。</li> <li>・時々会う、障がいのある方に「こんにちわ」などの挨拶をしていたら、挨拶を返してくれるようになった。</li> <li>・法律や県条例などができ、具体的に支援していくことが分かり始め、個人的にも、市役所（仕事）的にも行動ができるようになった。</li> <li>・こういったアンケート調査が実施されているため。</li> <li>・電車やバスでもお一人で出かけられている方をよく見かけるようになりました。設備的にも支援も少しずつ充実してきていると思います。</li> <li>・手話サークル団体の方がコロナ禍でマスク着用だと口元が隠されてしまうのでフェイスシールドの購入先が知りたいと話されていたこと。</li> <li>・国会議員や地方議会の議員にも障がいのある方が出てきている。</li> <li>・建物内の段差が減ったように思う。将来の車いす生活を考慮してか、廊下のない一軒家が増えたように思う。</li> <li>・「障がい」という言葉が本人の責任ではなく、社会に起因するものだとい</li> </ul>



- ⑤ 障がいのある方への支援・配慮について、あなたの身の回りで変化が感じられたことがありますか。

はいを答えた人の内容

そのほか	<p>う理解が進んできているように感じる</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・身近にいるようになれば慣れてくるのでは。子供に関しては、関わる時間が多いほど自然に親しんでふつうに接することができると思う。</li><li>・レジャー施設やショッピングモールなど付き添いの方と一緒に遊びや買い物を楽しまれている姿を見かけることが多くなったように思う。</li><li>・以前より交流する場が増えているのではないかと感じる。</li><li>・母がアンプタしているので、席をゆずってもらったり車イス専用駐車場を利用したりする時。</li></ul>
------	--

- ⑤ 障がいのある方への支援・配慮について、あなたの身の回りで変化が感じられたことがありますか。

いいえを答えた人の内容

分類	回答内容
支援に対する意識や制度が十分ではない例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不便な動線だと感じることもある。</li> <li>・ 職員が窓口で相談に来ている障がいのある方を支援する法制度を知らない。</li> <li>・ 路上に自転車が放置されていたり、役所の書類も字が小さすぎたり等、まだまだ、だと思う。</li> <li>・ 道路の状況などの他、市でも雇用はしても対応する環境整備はしない等。</li> </ul>
状況が変わっていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現状以上に新たな変化を感じなかったため</li> <li>・ どのスパンでのご質問なのかによりますが、ここ2、3年はあまり変化を感じていません。</li> <li>・ 子どもたちが小学生の頃から支援級があったり、教師が障がいのある方がいたり、日頃から接する機会がたくさんあり、普通に過ごしてきたため。</li> <li>・ 配慮や支援による変化を特に感じない。</li> <li>・ 駅や道路等のバリアフリーがまだまだ進んでいない。</li> <li>・ 法施行後に特に変化があるようには感じられない。</li> <li>・ 目で見える範囲では特にない。</li> <li>・ これまでと比べ、特に変化は感じられない。</li> <li>・ あまり感じられない。</li> <li>・ 特にそのように感じたことはない。</li> <li>・ 少しずつ変化していると思いますが、身をもって感じる変化は今のところあまりないです。</li> <li>・ 障がいのある方との距離感やその人達への考えは、変わってない気がする。(世間的に)</li> </ul>



⑤ 障がいのある方への支援・配慮について、あなたの身の回りで変化が感じられたことがありますか。

いいえを答えた人の内容

<p>意識したことがないので変化が感じられない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 配慮を必要とする場面に出会うことがあまりない</li> <li>・ 特に意識をして観察したことが無かったので、あまり気づいていない。</li> <li>・ 自分の周りに障がいをお持ちの方がいないため。</li> <li>・ あまり気にしていなかった。</li> <li>・ そのような場面に出会うことがない。</li> <li>・ 普段、意識していないせいか変化が感じられない。身近に障がい者がいないからかも。</li> <li>・ あまりそういった場面になることがない</li> <li>・ 元々配慮している方は配慮しており、そうでない方はそうでないままと感じる。</li> <li>・ 普段、意識していないせいか変化が感じられない。</li> </ul>
<p>バリアフリー化などハード面の整備が不十分である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身近に障がいがある方がいればもっと理解は進むと思うが、自分も含めまだまだ配慮やバリアフリーに消極的なのではないかと感じる。</li> <li>・ 内部の障がいを抱える方が気軽に利用出来るトイレなどは少ないように感じる。</li> <li>・ 本庁のドアが重い鉄扉で、車いすの人が開ける事が出来ない。</li> <li>・ バリアフリーになっていない所が多い。</li> <li>・ 国道1号線の歩道の狭さなど公道上の危険個所がまだ多いと感じる。</li> <li>・ 車いすで買い物に行かれる方が、歩行道路がないため車道を通らざるを得ない場面に多く出くわす。</li> <li>・ 特にない、今更思うのですが庁舎内のウエスタンドア（スイングドア）は身体障がいを持つ職員にとって不便ではないですか？</li> <li>・ 駅のホームの転落防止柵が設置されないなど、まだまだ障がい者にとって危険な場が多い。</li> <li>・ 公共交通機関である鉄道（駅のホームドアが無い駅で）の事故をニュースで目にすることがある。</li> <li>・ バリアフリーは進んでいるが、まだまだ足りない。デパート等でも段差等、未対応が目立つ。</li> <li>・ 新しい建物はバリアフリー化できていることもあるが、まだまだ階段だけしかない施設も多い</li> <li>・ 新規建物についてはバリアフリー化が充実していると感じているが、既</li> </ul>

⑤ 障がいのある方への支援・配慮について、あなたの身の回りで変化が感じられたことがありますか。

いいえを答えた人の内容

<p>バリアフリー化などハード面の整備が不十分である。</p>	<p>存の建物に関してなどはエレベーターが狭いなど、バリアフリー化が進んでいないと感じる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バリアフリーが新しく図られているのをあまり見ない。</li> <li>・視覚障がいのある方が誤って駅のホームから転落し、亡くなる事故がたびたび報道されるなど、ホームドアの設置が進んでいない状況である。</li> <li>・比較的新しい施設はバリアフリーの考えが当然のように反映されているように思います。一方で、古い施設は障がいを持つ人々にとってまだまだ厳しい状況にあることが多いように感じます。</li> <li>・ベビーカーを押している時に、道路が車道（歩道）に向かって下降していて転倒しそうになることが何度もありました。車イスの方だとおひとりでは通れないと感じました。</li> <li>・足元のブロックが壊れている。松葉杖の人にはエスカレーターの車イス様の移動を使えない。自転車の迷惑駐車そのまま。</li> <li>・市営の施設では、音声案内等があるが他の施設ではそのようなサービス、取り組みがあまり感じられない。</li> <li>・駅のホームから誤って転落してしまうというニュースを聞くと、まだまだ充実化しているとは言えない。</li> </ul>
<p>そのほか</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設備面では充実してきているが、実際に障がい者の方と距離が近くなった時に、あまり気にかけていない人の方が多いように感じられる。</li> <li>・バリアフリーの充実化がはかられているが障がい者の生活全般の大半には障がいが残っているのではないか。</li> <li>・障がい者雇用の職員が増えたとは思いますが。但し、やはりいろいろな面で業務内容はかなり工夫しないと対応が難しいことも多いです。他の職員に負担が偏らないようにすることもまた、調整が必要だと思います。</li> <li>・職員が窓口で相談に来ている障がいのある方を支援する法制度を知らない。</li> <li>・障がいのあるかどうかはわからない、見えていない。職場では障がいの有無でなく、全ての人への支援・配慮に心掛けていると思う。</li> <li>・以前より声をかけていない様に感じられる。</li> <li>・注意喚起の標識などが劣化し、文字が見えなくなっているにも関わらず、直されていない。</li> </ul>



- ⑤ 障がいのある方への支援・配慮について、あなたの身の回りで変化が感じられたことがありますか。

いいえを答えた人の内容

<p>そのほか</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・壊れたままの視覚障がい者誘導用ブロックが放置されている。</li><li>・あまり状況を詳しく確認していない。</li><li>・身体的に不自由な方に対する配慮やバリアフリーは充実化していると思うが、目に見えない障がいに対する支援・配慮が行き届いていないと感じるため。</li><li>・駅ホームでの転落事故が増えているが、障がいがある方への無関心が原因であるように感じる。特に若者・コロナ禍において、文字情報が多い状況にあり視覚障がい者にとって厳しい。</li><li>・まだまだ障がいをお持ちの方を奇異な眼で見る人が多いと感じる。</li><li>・身体的な障がいへの対応は進んでいるように思いますが、多様な障がいに対する知識と理解が十分ではないため、事故や事件に巻き込まれていく障がい者が依然として多いことに胸が痛みます。</li><li>・ヘルプマークをつけている方を、街でよく見かけるようになりました。ただ、当事者には認知されていても一般への認知はまだまだ低いと感じます。(どのような配慮が必要かも含めて)</li><li>・法律ができたからではなく、以前と同じに差別や偏見を持たないように行動している。</li><li>・障がいのある方には特別な意識は持たず、健常者同様、区別なく接している。</li><li>・法の施行による特別の変化は感じない。</li><li>・すでに障がいの有無に関わらず支援や配慮が必要な人にはサポートしようという流れだと思う。</li><li>・減免やサービスとしてのディスカウントはあるが、空間的配慮に欠けている。</li><li>・特に大きな変化は感じられない。</li><li>・バリアフリー化が必要であるという意識は浸透しているように感じるが、設備や制度の充実は不十分であると感じている。</li><li>・点字にイタズラされている、ブロックも自転車のついている。</li><li>・スマホ社会になっていて皆スマホばかり見ているので、駅や電車内など、障がいのある方を視界に入れる頻度が減っている</li><li>・歩きスマホをしている人が多い。</li></ul>
-------------	---